

北九州市民の会ニュース

平和ネットが 19 日定例街宣

本日 7 月 19 日は、平和をあきらめない北九州ネットの定例街宣。最近是小倉駅前と折尾駅前の二ヵ所宣伝にして、小倉駅前には 25 名、折尾駅前には 17 名の参加。

ビラの片面は核兵器廃絶に向けた運動参加の呼びかけ、その裏面は日本と NATO の軍事連携についてのビラ。

スピーチは、だいたいその内容の線に沿ったものだけど、それに自分が思いを寄せていることなどを加えています。

今回初めて分かったのですが、大軍拡反対の署名や核兵器禁止条約批准を求める署名など 2～3 種類の署名を持って、相手の反応を見ながら「これはどうですか」みたいな感じで、他の署名用紙も差し出しているみたいです。さすがだなー。



しかし、いつ見ても女性が多い。だいたい参加者の 6 割か 7 割が女性。新婦人のみなさんや、I (アイ) 女性会議のみなさん、いつもありがとうございます。
(竹内俊一氏 FB より)

憲法連続講座に 13 人が参加 9 条の会・北九州憲法ネット主催

7 月 22 日午後、生涯学習センターで開かれた、北九州憲法ネット主催の「憲法連続講座：弁護士に聞いてみよう！憲法のはなし」には、13 人の方が参加。三輪副座長の挨拶のあと、講師の小野純司弁護士（小倉南法律事務所）が、優しい口調で話しました。そのあと、講師への質問も交えて、参加者の自己紹介がなされました。足が悪く、電動車いすで来た女性は、「日本の憲法は、世界最大の安全保障と思う。障害のある自分が JR にスムーズに乗れるのも憲法があるから」。小倉北区の男性は「笑いは、権力者を笑い飛ばす。この事を大事にしている。小学 3 年生の孫には、(松元ヒロの) “憲法くん” の様になってほしい」。小倉南から参加した行政書士の方は、「その国の憲法前文があるところは 59 か国だと言う。中には “神” という言葉が出てくる国もある。今、日本で改憲の風潮が出て来ているが、心配している」等々、多くの発言がなされました。

これらの疑問に答える形で、講師は「日本の憲法は、国家権力を制限し、国民の権利・自由を守る法体制



と最初に述べたが、憲法 13 条は、国民一人ひとりが大切だとしている。これは他人も大切ということだ。今、“世界の情勢にマッチしていないので憲法 9 条を無くせ！”という人もいるが、“9 条を無くしたら日本は平和になるのか？平和を求めるには、軍事でなく、別の方向もあるという事を広く知らせることが大切だと思う」とまとめの発言を行い、この日の講座を閉めました。
(野瀬記)

「学校給食の無償化をめざす会」ニュース・1号 (2023/7/27) 事務局発行



7月8日、八幡西区「子どもの館」で、102名が参加して学習会をおこないました。市議員の永井佑さん、元学校給食調理員の前田由美子さん、新婦人八幡東支部の三浦さんが報告しました。会場からもたくさんの意見をいただきました。

最後に「学校給食の無償化をめざす会」として発足し、運動を広げていくことを提案し、参加の皆さんの賛同で発足が確認されました。

役員：会長・安永武 事務局長・江藤恭子 事務局：賛同団体と個人



安永武会長
あいさつ(左)
永井さん(中央写真・左)の報告は、パワーポイントで分かりやすかった。資料が欲しいとアンケートに



元調理員の前田さん(中央写真・右)は、民営化されている現場からの報告。三浦さん(右)は、新婦人で行われた学習会の内容から全国での無償化の動きを報告



学校給食の無償化をめざす会、動き始めました！

7月20日、18時から戸畑生涯学習センターにおいて、「めざす会」発足後、初めての事務局会議を開催。運動の柱や運動の基本などを話し合いました。

運動の柱

- (1)自治体の責任で無償化と安全・質の向上を責任を持ってやらせる必要を呼びかける。
- (2)学校給食を通し、子育てや教育に対する市の姿勢・市議員の見解を明らかにし市民に問うものとする。
- (3)2025年の市議員選挙の大きな争点にすることも考慮し、市政に興味・関心を広げる運動として盛り上げる。
- (4)市の予算は市民の命とくらし最優先に使うべきと呼びかけ、他自治体の例(国からの地方創生交付金や価格高騰重点支援地方交付金の活用で無償化にしているなど)を伝えながら、北九州市でも無償化できるということを広げる。



運動の基本

- ①現状では署名はなかなか集まらないが、広く知らせる手立てとして署名を取り組む。
- ②広範な人に知らせる方法として「メッセージ集め」をおこなう。また、世論を広げていくため「市民ひとり一人の生の声」を集める。メッセージを寄せてくれた人に「学校給食無償化賛同シール」(仮称)を渡す。
- ③学校給食無償化に関するデーターを「見える化」し、市長や議員に手渡し、検討を促す。
- ④北九州市の現状(市のお金の使い方など)を知るプレゼン企画や、他自治体の取り組みを学び、全国の運動の中に位置づけて意識化する。
- ⑤給食カフェを開こう！
定期的な交流の場として調理員さんの手も借り開催する。作って食べて、給食・食育の大切さを実感して、「この給食をさらにおいしく安心安全で無償にしていこう」と呼び掛けながら運動を広げていく。
- ⑥運動の中心に子育て世代を！
小・中学生の子どもを持つ子育て世代が、当事者として無理なく楽しく、しかし着実に運動をすすめる主人公になる「学校給食プロジェクトチーム」を結成し、みんなで意見を出し合いながら給食カフェを基本に楽しく交流し学習していく集まりを広げていく。
- ⑦SNSの運用や拡散、ポスター作り、動画編集などチームメンバーの持つ仕事や趣味、特技を生かして、デザイン部、拡散部、宣伝部などをつくり運動を広げる。
- ⑧2025年に行われる北九州市議員選挙に一大争点にしていく。

第2回学習会します！ 10月7日(土)10時~11時30分 戸畑生涯学習センター